

「生活 (life)」から人間の育ちと学びをとらえ直す — 創る・楽しむ・共生する

「教室はリビング、そこに生徒がいて教師は教材というゲストを迎える。このゲストの面白さを引っ張り出す。」
 こうした豊かな発想で学びが行われている場所は実は既定の学校ではない。しかし既定の学校ではないがゆえに制度や慣習にとらわれず、豊かな学びが創造できると考えることはできないだろうか。本シンポジウムでは、既定の制度とは反対の方向からアプローチする「逆転の発想」をもって、既定の学校とは異なる空間での学びの実践と育ちの記録から、学校的な教育とそれに影響された学びをとらえ直していく。実践と記録の報告は、珊瑚舎スコーレ（沖縄）と地球っ子グループ（埼玉）にさせていただく。学校を「思索と表現と交流の場」とする珊瑚舎スコーレでは、シンカソング・シンカ会議・山がんまり等、特徴的なカリキュラムのもとで創造的な実践が行われている。「同じってうれしい！ちがうって楽しい！」を合い言葉に、体験と対話を重視した活動を行うのが、地球っ子グループである。これらの実践と記録を「生活 (life)」に着目して人間の育ちを研究されてきた汐見稔幸氏に診断いただく。汐見氏は現在エコカレッジ「ぐうたら村」村長でもある。珊瑚舎、地球っ子、ぐうたら村、別の組織であるが共通する何かがある。登壇者のクロストークを交えそれを深めたい。当日は参加者も活動の体験ができる、楽しい場にしたい。疲れている学校教員や日本語教師、行政職員はぜひ参加してほしい。疲れが吹っ飛ばすかも（？）

★珊瑚舎スコーレ 星野 史人（ほしの ひとし）氏

NPO法人珊瑚舎スコーレ代表・校長。琉球大学非常勤講師

1996年3月、私立高校の校長を退職後、那覇に移り住み「珊瑚舎設立準備会」の活動を始め、2001年4月、珊瑚舎スコーレ開設。2004年4月、夜間中学校開設。



★地球っ子クラブ 2000 高柳 なな枝（たかやなぎ ななえ）氏

多文化子育てCoconico 井上 くみ子（いのうえ くみこ）氏

あそび捨てんきりん 芳賀 洋子（はが ようこ）氏

日本語教師、地域日本語教育コーディネーター。文化庁「生活者としての外国人のための日本語教育事業」受託



★ぐうたら村 汐見 稔幸（しおみ としゆき）氏

東京大学名誉教授、白梅学園大学名誉学長、日本保育学会会長。

NHK Eテレ「すくすく子育て」のコメンテーターとしても活躍。

専門は教育学、教育人間学、保育学、育児学。

日 時：2023年2月19日（日）13:00-17:00

会 場：埼玉大学 全学講義棟1-207 対面での実施（※オンラインの同時配信なし）

埼玉県さいたま市桜区下大久保255 会場は常時換気をしていますので暖かい服装でご来場ください

アクセス：JR京浜東北線「北浦和駅」西口からバス「埼玉大学」（終点）下車 約20分

JR埼京線「南与野駅」からバス「埼玉大学」下車 約15分

東武東上線「志木駅」東口からバス「南与野駅西口」ゆき（「埼玉大学」下車） 約30分

参加費：社会人 1000円（会場にて現金払い）、学生（大学院生含む）無料

定 員：先着順 200名程度

※右のQRコードより事前申し込みをお願いいたします。

申込者が定員に達した段階で申し込みを締め切らせていただきます。

事前申し込み Google フォーム QR

